

## テーマ 「おに」 の えほん

しよめい	ちよしゃ	しゅつぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
オニのサラリーマン	富安 陽子／文 大島 妙子／絵	福音館書店	エホン／オ	オニのオニガワラは、じごくではたらく、サラリーマン。きょうもおくさんと子どもにみおくられて、まんいんバスで、しごとに行きます。ところが、うっかりいねむりして、えんまだいおうにしかられてしまいました。オニのサラリーマンも、まいにちたいへんなのです。
おによりつよい おれまーい	土方 久功／再話・画	福音館書店	エホン／ヒ	おれまーいは、しまでいちばんおおきつよいこどもです。あんまりちからがつよいので、こわくなったむらのおとなたちは、おれまーいをころしてしまおうとそうだんし、おにのすむしまにつれていきました。おれまーいはおにとたたかって、しまにもどってきます。
じごくにいったかんねどん	常光 徹／文 かつらこ／絵	童心社	エホン／カ	からつのかんねどんはとんちものですが、ほらふきでけちなひとでもありました。あるひ、かんねどんは、フグのどくにあって、ぼっくりしんでしまいました。あのよにいったかんねどんは、赤おにと青おにによってエンマやしきにつれていかれてしまいました。
せつぶん 狂言えほん	もとした いづみ／文 野村 たかあき／絵	講談社	エホン／ノ	せつぶんのよるです。おにがいつけんのいえをたずねると、そこにはうつくしいおんながいました。おんなは、さいしょはおにをこわがっていましたが、おにが、じぶんのことを好いているとわかると、おにのたからものをとりあげたり、まめをまいたりとしたいほうだい。
ちいちゃんとまめまき	しみず みちを／作	ほるぷ出版	SIホン	ちいちゃんが、ようちえんをみにいくと、まめまきをしていました。「おには一そと、ふくは一うち」といいながら、おにのおめんをかぶったひとに、まめをなげています。ちいちゃんも、いえにかえって、まめまきをすることにしました。まず、おにのおめんをつくります。
ぺにろいやるのおにたいじ	D. S. ジョーダン／文 吉田 甲子太郎／訳 山中 春雄／画	福音館書店	エホン／ヤ	おうさまのしろのちかくに、おそろしいおにがすんでいました。おには、おうじをちいさくしてみんなをおびえさせていました。そんなとき、ちいさなおとこのこのぺにろいやるが、なぜか、たことたいこをもって、おににひっこしをしてもらうようにたのみにいきます。